

輝くエピソード

発行所
山形県立寒河江工業
高等学校PTA
山形県寒河江市緑町148
電話(86)4278

第70号
平成26年2月4日



今年の思い出



各専門部より

今年度の振り返り

総務部部長 荒木 安彦

早いもので、今年度の活動も残りわずかです。

これまで総務部として活動してきた中で思い出は、6年に1度、山形で開催される東北地区高P連大会への参加です。駐車場の誘導係という役割もありましたが、各高校のいろんな取り組みが聞けて大変貴重な体験をさせていただきました。

そして、もうひとつは、2年越しに待ちに待った神輿祭りへの参加です。新しくなった神輿を担ぐ子供たちの姿に、寒河江工業のパワーを感じました。沿道の皆様からの声援をいただき、地域活性化のためになつていると、強く感じました。最後に、会員の方々のご協力ありがとうございました。

寒河江神輿祭り大成功へ

育成部部長 岡崎 和博

平成25年度活動も残りわずかとなりました。私は3年間育成部をしてきました。

育成部の活動としては、6月のマナーアップ運動初日、

生徒会役員・生活委員と一緒に、朝の挨拶運動に加わりました。生徒たちの声も小さく心配しましたが、10月の寒工祭当日は元気のよい挨拶があり、うれしく思いました。

去年は、神輿祭りの不参加がありました。今年度は創立50周年の記念行事として、新しい神輿が製作されました。9月15日(日)は朝から台風が接近し、天候も心配されましたが、始まる時から雨も上がり、生徒たちは大きい声を出し、祭典を盛り上げました。そして、多くの役員の皆様から長時間にわたりご協力をいただきました。

神輿会館前ファイナルまで、心ひとつの大成功だったと思います。最後に、先生および保護者の皆さんに感謝申し上げます。3年間ご協力ありがとうございました。最後に涙々。

今年度を振り返って

体育部部長 中谷 公三

今年度のPTA活動も残りわずかとなりました。

関係各位皆様のご協力により3年間の活動が無事に終了に向かっていくことに、心より御礼申し上げます。例年通



りの活動ではございましたが、レクレーション大会も大きなトラブルも無く盛大に終わることが出来ました。スポーツを通しての交流、会員皆様の親睦に少しでもお役に立てたかなあ?と振り返っております。

あつという間の3年間(実は6年間)でしたが、楽しく笑顔で活動できましたことに感謝申し上げます。

皆様へ感謝

文藝部部長 富樫 文彦

大きな節目の創立50周年に、本誌「輝くエンジニア」の編集発行を担当させていただきました。大変感謝しております。伝統ある学校と光り輝くエンジニアの卵達を、より詳しく、をモットーに多くの皆様にお伝え出来ればと取り組んできました。多くの方々よりご支援を頂き、まだ書ききれない内容が有ったのですが、やむをえず抜粋して発行しました。

ご協力してくださいました方々や担当の先生の方々には本当に感謝を致します。3年間あつというままでありました。大変有難うございました。

PTA会長の大役を引き受け、約10ヶ月が過ぎようとしています。あつと言う間の時間でした。そして会員の皆様の多大なるご支援ご協力のものと、まもなく25年度が終えようとしております。この場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

本年度は高校再編によるキャンパス制の開始、そして土木科の募集停止による生徒の減少など、本校におきましても、大きな変革の年であったと思います。しかし、継続事業である各地区の保護者、生徒によるボランティア活動が本年も変わらずできた事に改めて感謝いたします。



PTA会長 志田 宏

「子供達の前途を祝して」

年は諸事情により参加が見送られた神輿の祭典では、新しくなった神輿で、子供達が元気に担ぐ姿は本当に親としてPTA会長として嬉しく思います。

そして、11月には、めでたく本校創立50周年を迎える事ができました。そして記念式典、記念祝賀会が盛大に行われた事を改めて報告させていただきます。これは同窓会会長、校長先生初め教職員の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

次年度からまた1学級少なくなり予算編成や各地区の統合など問題が山積みですが、皆様の協力なしでは解決できませんし、乗り越えられる問題だと感じております。現実

を受け止めること、前向きに建設的に行動すること、それは私達が行動し、子供達に教えなければならぬ事ではないでしょうか。

さて、これから子供達は新たな道に進みます。私が子供達に伝えたいのは「人間力の構築」です。決して自分一人では生きていけません。人のため、社会のため、そして世の中から必要とされる人材にならなければなりません。その為には努力が必要です。決して楽な道を選ぶのではなく、あえて厳しい道に進んで欲しいと願っています。

「ダイヤモンド」はダイヤモンドでしか磨けない。人は人でしか磨けない。と言います。ぜひ私達、親が人として真正面から向き合っていく事が大切と考えます。子供の将来を考えると、不安でもあり、楽しみでもありません。でも、それは親でしか味わえない事です。これからは子供達と触れ合う機会もどんどん減っていきます。ぜひ今しかやれない事を私達親もやりましょう。

最後にこの3年間PTA活動に際し、多くの保護者の皆様、先生方との出会いは私にとって本当に財産となりました。同じ世代の子を持つ親として、困った時の良き相談相手ができました。皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に對してご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、本校創立50周年にあたりご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。おかげさまで、創立50周年にふさわしい一年にすることができました。25年度を振り返ってみますと様々な生徒の活躍があります。

資格取得では、技能検定で、12月までに24名の生徒が合格しました。なかでも、難関の2級に電子機器組立部門で3年情報技術科の1名が合格しています。全国工業校長会にはジュニアマイスター制度がありますが、8月段階でゴールドに2名、シルバードに14名が認定されています。

他にもいろいろな資格に挑戦し昨年以上の成果を上げてくれました。部活動では、弓道部・剣道部が秋の県新人大会で優勝と3位入賞という結果を出してくれました。部活動の結果も大切ですが、毎日の練習に励むことが何よりも大切だと考えています。行事では、2年ぶりに「寒河江まつり神輿の祭典」に参加することができました。おかげさまで市民の方々に大きな激励をいただき、祭りを盛り上げてくれました。寒工祭は生徒会執行部を中心にして運営され、全校一丸となつて素晴らしい学校祭になりました。2学年の修学旅行、実りの多い修学旅行でした。3年生



校長 菅原 和明

「目指せ 輝くエンジニア」

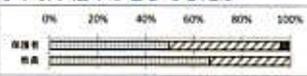
に向けて良い体験を得たものと思つています。3年生の進路では、昨年より求人数は増え、なかでも建設関係の求人有好調でした。3年生の進路もほぼ決まりました。就職については、11月末で100%の決定となっています。就職内定者の内訳は、県内就職者82名、県外就職者12名となっています。地元就職に強い本校の特色が表れた結果となっています。

さて、本校創立50周年にあたり、「地域に根差し、地域に開かれた工業高校」としての本校の特色を生かしながら「常に前進する学校」を目指すことをお約束しました。

さらに、50周年を記念して目指す生徒像を示すスローガンを定義しました。「目指せ 輝くエンジニア」です。この言葉には、2つの意味が込められていて50周年式典の式辞で話させていただきました。一つには、生徒一人ひとりが光り輝く学校、そして地域を輝がらせる学校を目指していく意味。2つ目は、生徒一人ひとりがスベシャルな目指す意味です。「目指せ 輝くエンジニア」は、一人ひとりが輝く寒河江工業高校生の理想の姿をあらわしています。「目指せ 輝くエンジニア」のスローガンのもと、保護者の皆様のご協力を得ながら、生徒一人ひとりの伸長を図ってまいりますのでよろしくお願いたします。

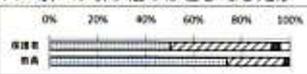
①全体PTA関係(総会・レクレーション等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	71	115	173	8	4	3	3.6
教員	8	20	14	0	0	0	3.9



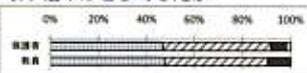
②地区PTA関係(地区懇談会・ボランティア等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	88	100	158	10	3	15	3.7
教員	8	23	10	1	0	0	3.9



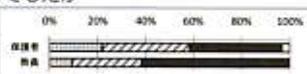
③学習指導(授業・定期考査・課題等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	54	121	168	16	8	7	3.5
教員	1	19	18	4	0	0	3.4



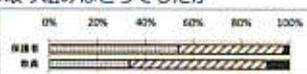
④お子さんの家庭学習への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	24	58	136	97	47	12	2.8
教員	1	3	12	24	2	0	2.5



⑤生徒指導(身だしなみ・交通安全等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	66	134	164	8	0	1	3.7
教員	1	13	24	4	0	0	3.3



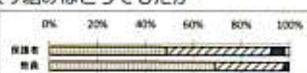
⑥部活動指導はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	62	72	165	43	16	16	3.3
教員	2	15	22	3	0	0	3.4



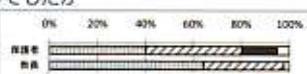
⑦進路指導(就職・進学・公務員等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	81	101	162	16	5	8	3.6
教員	7	22	12	1	0	0	3.8



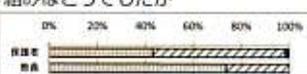
⑧お子さんの進路活動への取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	72	77	149	45	10	19	3.4
教員	5	22	14	0	0	1	3.8



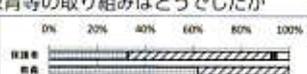
⑨保健活動(健康・安全・衛生等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	49	112	206	5	0	2	3.6
教員	4	27	11	0	0	0	3.8



⑩個別指導・カウンセリング・特別支援教育等の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	42	79	221	7	2	20	3.4
教員	4	22	16	0	0	0	3.7



●設問に対する評価

- 5 満足(十分)
- 4 概ね満足(概ね十分)
- 3 普通
- 2 やや不満(やや不十分)
- 1 不満(不十分)



会員の皆様からアンケートにご協力頂きありがとうございました。

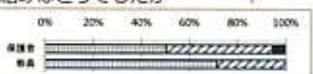
総務部
平成二十五年度
学校評価アンケート
総務部長 菊池 敏宏

概要は、次の通りです。

- 回収率は、91・2%。
- 今年度は昨年度とアンケート項目が異なるため比較がでない。
- 領域で高いポイントは、②⑤である。
- 3点未満の項目は、④のみ。
- 今後、記述部分を含めて結果を分析し、来年度に活かしていきます。

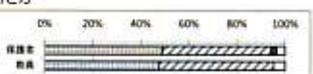
⑪各科(資格取得・ものづくり等)の取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	63	125	166	16	3	1	3.6
教員	8	22	12	0	0	0	3.9



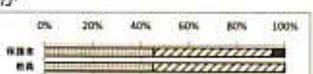
⑫各学年・各クラスの取り組みはどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	61	122	169	8	1	13	3.6
教員	2	18	20	0	0	2	3.6



⑬学校からの様々な情報提供はどうでしたか

	5	4	3	2	1	未回答	平均値
保護者	48	122	184	14	3	3	3.5
教員	1	18	23	0	0	0	3.5



寒河江工業高等学校は今年で創立50周年を迎え、去る11月8日(金)に記念式典・記念講演会を寒河江市市民文化会館にて多くの御来賓より御臨席を賜り盛会に終了しました。

また、記念講演会では山形県出身の工業デザイナー奥山清行氏を講師に迎え「これからの100年をデザインする」という演題にて、これからの未来を見通したすばらしい講演をいただきました。

創立50周年

特集

事務局
宇野 秀俊

記念式典次第

開式のことば
国歌斉唱
実行委員会会長挨拶
校長式辞
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
感謝状贈呈
生徒代表挨拶
校歌斉唱
閉式のことば
みこし披露



記念式典



実行委員会会長挨拶



校長式辞



感謝状贈呈



生徒代表挨拶



みこし披露



記念講演会



祝賀会：開会の挨拶



祝賀会：臥龍太鼓演奏



記念事業1



無料ものづくり教室



記念事業2

寒河江みこし祭り参加



記念事業3

人文字作成



記念事業4

寒河江のルーツを探せ



最後に、支えていただきました生徒会のメンバー、生徒の皆さん、先生方には感謝の言葉でいっぱい입니다。本当にありがとうございます。

また、各行事では、さまざまな出来事がありました。体育祭では雨が降り、文化祭は例年よりも1週間短い期間での準備、神輿祭りでは、なかなか人が集まらないなど、多くの困難に直面しました。さまざまなことを乗り越えていくことで、生徒会役員全員が学び、成長できたのではないかと考えています。



感謝の気持ちでいっぱい
前生徒会長 阿部 航瑠
私が、寒河江工業に入學して、3年が経とうとして

この3年間はさまざまなことがあり、思い出の多い学校生活でした。その中でも私が成長することができたのは、生徒会長になってからだと思えます。生徒の代表であり、見本となるように心がけながら学校生活を送ってきました。それは、特別なことでなく、ごく自然なことのように思えます。さらに、前生徒会長を見本として、学校全体を盛り上げていきたいという強い意志があったからと考えています。

我がまちのトピックス

「親子ボランティア」

寒河江南地区会長
荒木 安彦

今年度から柴橋地区さんと統合になり、寒河江南地区として新たなスタートをきりました。主な活動のひとつとして、「親子ボランティア」があり、毎年恒例となっている長生園さんの清掃活動をしました。総勢80名ほどの参加がありました。活動内容は窓拭き、車椅子の清掃です。各部門にわかれて親子共々汗を拭きながらの活動になりました。作業が終わってみれば、窓も車椅子もピカピカです。入園されているおじいちゃん、おばちゃんも気持ちよく過ごしてもらえ事と思います。短時間ではありましたが、この活動を通して、仕事の大変さや仕事をやり遂げた充実感、何よりも仕事を喜んでくれる人がいる事を少しでも子供たちに感じていただければうれしく思います。

これからも、地域の皆さんのためになるボランティア活動を続けていきたいと思えます。

「親子ボランティア清掃」

朝日地区会長
鈴木 俊一

朝日地区は、毎年7月第1土曜日の午後3時より、特養老人ホーム「ふれあい荘」の施設内の窓ガラス拭きや洗浄と、外の草刈りをさせていただいております。施設の方々から大変好意的に受け入れていただき、毎年期待して待っていてくださるようで、とても感謝しています。生徒達は施設内部の窓拭きや清掃、親達は外の草刈りや清掃です。親も子も含めて、出席率も例年大変良く、この伝統も引き継いでいきたいものです。

朝日地区PTAは、7月末のレクリエーション大会で、昨年度は男子がまさかの優勝、今年度は女子が優勝、と勝ち運にも恵まれ大変盛り上がり、親たちの親睦も大変良いようです。

将来の朝日地区の生徒数の減少は心配ですが、子ども親も仲良く活動していければ、と思えます。

修学旅行を実施して

二学年主任 渡邊 晃

11月10日から13日までの3泊4日の日程で、菅原校長を団長に、生徒136名、引率教員7名の総勢143名で関西方面へ修学旅行に行つてまいりました。近年、「物見遊山のな旅行が多くなっている」といわれる修学旅行ですが、本校の旅行は「工業高校」らしく科別の工場見学や体験学習などが盛り込まれ、まさに「修学」の要素が色濃く反映されたものとなっております。

初日は大阪と神戸に分かれ工場見学などの研修を学科別に実施しました。飲料工場見学や最新の防災システム、海洋システムなどを学び、様々な知識を吸収してきました。

2日目は法隆寺、春日大社、東大寺、薬師寺を巡らし、晩秋の古都奈良を満喫してきました。とりわけ、薬師寺で拝聴した法話では感銘を受けた生徒が多かったようです。「大海の中の盲目の亀」を例とした話では「人として生まれた奇跡に感謝し、『有難う』の気持ちを忘れずに生活していかなければなりません」と諭され、心洗われた様子でした。

三日目の京都での班別自主研修では、自ら作成した見学コースに従って、計画的に時間通りに研修することができました。旅館に帰着する時間も守る事ができて、大変立派な自主研修となりました。研修先を作成する過程での共同作業や研修当日の協同作業などを通じて、自主性や自律心を身につけた生徒が多かったと感じています。

修学旅行を終え、2年生は高校生活も後半に入り、自らの今後の進路を真剣に考えなければならぬ時期を迎えました。本旅行で培った自主自律・協調の精神を生かし、自らの道を切り拓いていくこととなります。引き続き皆様の温かいご指導ご支援をお願いいたします。

最後になりましたが、修学旅行の実施にあたり深いご理解を示していただきました保護者の皆様、物心両面からご支援いただいた後援会の皆様に深く感謝いたします。

生徒会長との挨拶

生徒会長 深澤 龍観



私は後期生徒会長を務めさせていたただく深澤龍観です。よろしく

お願いします。私が生徒会長になろうと思ったのは、前期生徒会長の阿部航瑠先輩に憧れていたというのがあります。生徒会員の役に立ちたいと思っていました。私の抱負として、行事に力を入れていきたいと思っています。特に寒工祭に力を入れていきたいと考えています。今年度はとても盛り上がりました。だから来年度の寒工祭は、さらに皆が盛り上がりた。また、昨年度は、神輿祭りには参加できず、とても残念な思いをしました。これからの神輿祭りでは、途絶えることなく、みんなで一丸となり、成功させていきたいと考えています。さらに、地域との繋がりも大事にし、「若草のみち」の植栽活動にも力を入れていきたいと思っています。その中で地域の人たちと交流する事により、生徒、みんなのコミュニケーション能力が高まり、本校の「目指せ輝くエンジニア」につなげられると考えます。これから一年間、全力で生徒会活動に取り組んでいきますので、よろしくお願いたします。

部活動より

県総体で勝つために

弓道部新部長 秋葉 徹也

私たちが、弓道部は県新人大会で団体優勝という記録を残すことが出来ました。自分たちが県でも通用することが証明された大会になりました。

3年生が引退し、私たちの代になり、県新人優勝を目標に練習してきました。練習では、安定した中ができています。ところが、大会では、練習以上によい的を残すことが出来ました。大会で勝負強さができたことはとてもよかったです。

しかし、目標となる春の県総体で勝つには、もっと個の力を高めなければなりません。他校も力をつけてきますので、それに負けないためにも、これからの練習では一本一本を大事にしていきたい。また、しっかりとコンディションを整えて挑み、上位入賞をねらっていききたい。そして、残り少ない大会では、一射一射を大切にしていこうと思う。最後はいい形で引退したい。



1学年主任より

皆で楽しんだ焼き物教室

1学年主任 今田 廣幸



今年度の第一学年行事は、11月14日(木)の午後、本校体育館で「焼き物体験教室」を実施しました。学年全員でひとつのことに取り組み「学年としての連帯感」を高めること、創作活動を通して「芸術の秋」を楽しむことを狙ったものです。

当日は、山形市平清水の七右工門窯様から4人のスタッフにおいていただき、分かりやすく、親切に、ご指導していただきました。開閉会のあいさつ、講師紹介、お礼の言葉すべてを生徒たちが立派に行いました。和気あいあいの雰囲気の中で、各自が好きな形を粘土で作り上げました。わずか10分間ではありましたが、同じ学年同士として有意義な時間を過ごすことが出来ました。

色塗りと焼成は七右工門窯様をお願いし、作品は12月18日(水)2学期最後のLHRで配付しました。関係の皆様にお礼を申し上げます。



3学年主任より

卒業を迎えて

3学年主任 佐藤 正

15名の生徒諸君、卒業の時期を迎えることになりました。全員の進路が無事決定できたことを共に喜び、そして、ご指導いただいた教職員の皆様と、これまで支えていただいた保護者の皆様に対して心より感謝申し上げます。

入学後、最初の学年集会時に、学年目標として、「日本一の挨拶ができる学年」「時間を守れる学年」「行動に責任とれる学年」として掲げ、3年間、週2回の朝学習、定期考査前の朝と放課後学習に取り組み、1学年時では学年内クラスマッチ、3学年時では、進路激励と壮行式を兼ねた芋

煮会や公務員学習会など、多くの学年独自の取り組みを実施してきました。また、保護者の皆様には進路実現のために、3年間を見通した取り組みを約束し、各クラス・地区役員の方々のご協力を賜り、概ね計画通り実施することができました。

さて、生徒諸君が授業や学校行事、部活動を通して心身ともに成長できたことは嬉しいことです。ものづくりの完成したときの満足感、苦しい練習に耐えて試合に勝った喜びなど多くの思い出をつくり本校を巣立って行きます。寒工の卒業生であることに誇りを持ち、これから迫りくるあらゆる苦難を乗り越え、社会で活躍できる人間として、さらなる飛躍することを信じています。

進路指導部より

進路指導部部長 佐藤 繁樹

今年度の進路状況を報告いたします。山形県内の求人件数は昨年度以上に多く、本校への直接的な求人では特に土木、そして電気設備工事関連の求人が多い年でした。製造関係の食品製造では例年並みでしたが、機械加工や弱電関連の求人は少なかつたと思います。

8月時点での就職(公務員含む)・進学希望割合は、例年、就職6割程度のところ、今年度は7割となっていました。試験の結果、就職6割5分の内定となり、その

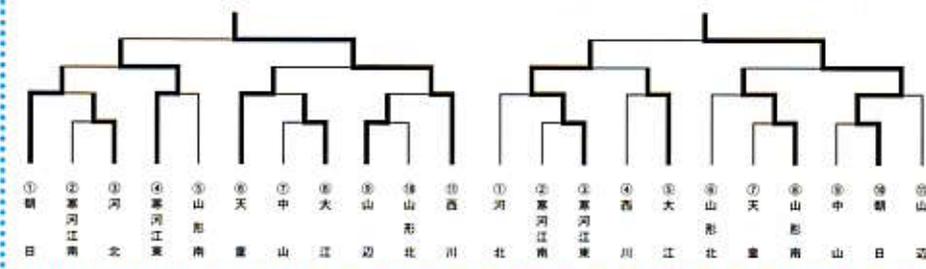
内の9割が県内就職です。公務員については最初、11名が希望。結果、3名が内定しました。例年同様、競争倍率も高く、まずは1次筆記試験の突破が課題となっていました。

進学については、1年ぶりの山工工学部へ合格をはじめ、東京理科大・金沢工大など、大学校では山形産業技術短期大学校・東北職業能力開発大学校などに合格しました。今年度は関係者皆様のおかげをもちまして、年内中に民間就職と進学希望者全員、内定を得られましたことを心より感謝申し上げます。

レクリエーション結果

【男子ソフトバレーボール】(H25年)

【女子ソフトバレーボール】(H25年)



次年度は、本格的に始まった震災復興事業や7年後に開催される東京オリンピックの準備などにより、さらに求人活動が活発になることも予想されます。本校生にとっても進路実現の追い風になることを願っています。